



なのはな



【学校教育目標】

- かしく
- ゆたかに
- たくましく



友の声 耳傾け合い 芽ひらく

校長 嘉手川 満



すっかり日が暮れるのも早くなり、街のあちこちでイルミネーションが輝きだしています。2025年も残り1か月、2学期のまとめの時季となりました。

12月、こどもたちがこれまでの成長を振り返り、3学期に向けて新たな課題を見つけ、さらに力を伸ばせるよう取り組んでまいります。

さて、「非認知能力」という言葉をご存じでしょうか。「非認知能力」は、協調性や粘り強さ、主体性や思いやりなど、点数では測れないけれど、人と豊かに関わり、幸せに生きていくために必要な力のことで、日常の学びや生活の中で育まれていきます。



本校では毎年「学校課題研究」に取り組んでおり、今年度は「非認知能力の育成を意識した国語科実践」をテーマに研究を進めています。例えば、国語の授業で物語を読み感想を話し合うとき、こどもたちは仲間の言葉に耳を傾けます。違う考えに触れることで、相手を尊重する心や協調性が育ち、課題を仲間と試行錯誤しながら克服する過程で達成感を味わい、粘り強さが養われます。



国語科の研究ではありますが、他教科にも広げることで、こどもたちの「学力」そして「生きる力」を育ててまいります。ご家庭でも、日常の小さな場面で「見守ること」「励ますこと」「認めること」などを通し、こどもたちの「非認知能力」を高めていただければと思います。

学校運営協議会だより #2 第3回学校運営協議会 11/19(水)

学校運営協議会では、目指す学校像「こどもたち一人一人のよさを伸ばす、笑顔あふれる楽校」を具現化する方策について熟議されました。地域・保護者の皆様の興味・関心、得意分野をこどもたちの支援に生かすことで、そして、こどもたちが地域・保護者の皆様との関わることで、こどもたちの「多様な他者との協働的な学び」を実現することができるのではないか、という意見をいただきました。将来的には、本校を卒業した学生の皆さんや企業の方々の得意分野も生かせるとよい、というご意見もありました。

これまでも、ミシンや書初めなどでご協力をいただいておりますが、「できる人が できるときに できることを」をコンセプトに、こどもたちの教育活動をより一層充実させていくための具体的な計画について学校運営協議会で検討してまいります。

